

## 短期海外研修の成果の活用状況

○令和5年度

テーマ	研修成果の活用
<p>ドイツ、オランダとの文化交流の振興に向けた現地調査 (環境生活部、ドイツ・オランダ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和6年6月2日、ドイツ・デュッセルドルフ市とアーティスト交換に関する協定を締結し、双方の文化面での協力関係を具体的に進めるため、千葉県とデュッセルドルフ市により、滞在制作を伴うアーティストの交換事業を実施していく。</li> </ul>
<p>台湾原住民族のキョンの狩猟方法に関する調査 (環境生活部、台湾)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>台湾における調査で原住民族から得た知見を踏まえ、令和6年度は、キョンの捕獲に適したくくりワナの改良に関する実証実験を行う予定である。</li> <li>実証実験で得られた技術等は、キョンの捕獲に取り組む市町村や事業者等と共有することで、キョン捕獲の一層の強化を図っていきたい。</li> </ul>
<p>ドイツにおけるスタートアップ国際展開支援策に関する調査 (商工労働部、ドイツ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>起業家育成、スタートアップ支援に力を入れている千葉大学や国立がん研究センター東病院と連携し、スタートアップの国際展開や外国スタートアップの誘致を進めていく。</li> </ul>
<p>流域治水におけるグリーンインフラ活用の先進事例調査 (県土整備部、シンガポール)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>流域治水の推進にあたっては、あらゆる関係者の意識醸成が重要であり、自治体職員や流域関係者等との情報共有を進めている。</li> <li>グリーンインフラ活用の取り組みや効果を様々な媒体を用いて広く情報発信し、関係者の更なる意識醸成を図っていく。</li> </ul>
<p>ウォーカブルなまちづくり（居心地が良く歩きたくなるまちなか）について (県土整備部、ドイツ・オランダ・ベルギー)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の都市計画の手本となったドイツや近隣のオランダ、ベルギーの都市では、市民自らの手で歩行者優先のまちづくりをしていくという意識の強さが行政を動かし、官民連携で地域全体の賑わい創出に取り組んでいる状況を把握できた。</li> <li>今回研修で得た知見をもとに、県及び市町村において県内事例と比較研究することにより、県内におけるウォーカブルなまちづくりの活用可能性を検討していく。</li> </ul>

○令和元年度

テーマ	研修成果の活用
<p>外国人介護人材受入れ、地域包括ケア及び障害者スポーツに関する調査 (健康福祉部等、オランダ・ドイツ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツの外国人介護人材確保の取り組みや考え方を参考に、本県で実施する外国人介護人材受入れ事業においても、外国人にとって居心地のいい環境づくりに留意し、介護人材として定着を図りたい。</li> <li>・オランダで学んだ問題解決の考え方を参考に、会議の場をより有意義な場とすることで、効率的な行政運営を図っていききたい。</li> <li>・障害の有無に関わらずインクルーシブな環境でスポーツに取り組めることや、スポーツに取り組む環境の選択肢が多くあることなど、ドイツで学んだことを活かし、障害のある人が県内のどこでもスポーツに取り組める環境の拡充を図っていく。</li> <li>・在宅医療の推進に必要な多職種連携について、ドイツでのSAPVの多職種間で無理なく連携できる仕組みづくりを参考にしながら医療機関等をサポートしていききたい。</li> </ul>
<p>医師の診療科偏在及び地域偏在に関する調査 (健康福祉部等、イギリス・フランス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イギリス、フランスにおける医師の診療科偏在・地域偏在に対する対応方法及び医療過疎地域での医療提供方法について共有していききたい。</li> <li>・フランスにおけるICTを活用した地域診療ネットワークの構築に関する取り組み等を参考とし、県立病院と地域診療所との連携を強化することで、紹介患者数の増を図りたい。</li> </ul>
<p>湖沼等における外来水生植物の繁茂状況・管理的手法の調査 (環境生活部等、フランス・イギリス)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来水生植物の駆除については、地域・繁茂状況に即した駆除計画を策定し、順次進めている。</li> <li>・駆除した外来水生植物の処分は、関係市町の協力を得ながら進めている。</li> <li>・駆除と並行して、再繁茂を抑制するための効果的な方策などについて、関係市や市民団体等と協議していく。</li> </ul>
<p>ドイツのIC周辺等における土地活用に係る広域調整等に関する調査 (県土整備部等、ドイツ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツでは都市計画分野での地方分権が進んでおり、地方を調整する機能を持つ広域都市計画である「Regional Plan」の役割が明確であった。今回の研修で得た知見を活かし、「千葉県都市づくりビジョン（令和5年6月策定済）」を策定し、IC周辺のまちづくり、外資系企業誘致施策に活かしていく。</li> </ul>
<p>「未来の教室」に向けた教育の情報化について～EdTech、STEAM(S)教育、個別最適化学習等の先進活用事例調査～ (教育庁等、アメリカ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTの先進的な活用事例を今後の環境整備に反映させ、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、子どもたち一人一人に公正に個別最適化され、資質・能力を一層確実に育成できる教育ICT環境の実現を目指すとともに、すべての子どもたちが学ぶ喜びを実感し、「学ぶことが楽しいおもしろい」と思える学校づくりの推進をしていく。</li> </ul>